



入笠山 1955m 2月26日

市橋、水野、柴橋、畑中、織田
▲久しぶりの雪山山行。車2台で7時に名城公園発。中央高速を諏訪南ICで降り、富士見パノラマリゾートPへ予定通り9時30分着。 Gondola往復2,000円なりで、1780mの山頂駅へ。10時30分登山口からアイゼンを付けて出発。アクセスが良いため、スキー場も人出が多く、登山も人気があるようで、良く踏まれた林間の雪道を登る。

雪に埋もれた入笠湿原を抜け、岩場ルートから11



時35分頂上へ到着。丸っこい山頂は風もなく快晴。360度の展望が開け、登山客で賑やか。正面のハヶ岳連峰、右手に見える南アの左には富士山が流石の風格をもって聳える。

昼食後12時20分下山。



下山途中、ヒップそりで尻制動を楽しみ、ピッケルの滑落停止の型を披露するなど、楽しみながら下った。途中マナスル山荘で小休憩。14時20分帰路へ。17時15分名城公園着。



親睦山行 大日ヶ岳 民宿 五郎平

雪が無くなりました。降雪機でスキー場は営業中ですが、予定の3月12、13日頃は山の雪は無くなりそう、この先も降雪は望み薄とのこと。

民泊の夜の語らいを楽しみに 実行 !!

令和5年3月2日

⑨



ラダック便り・沖

東海支部 登山隊 総隊長 沖 允人

登頂記録 その3

▲7月6、7日はBCで休養。

7月8日 BCは移動せず、これまでのBCからDzo Jongo(6211m) 東峰に登ることにし、日本人3名とインド人4名が8時45分に出発。12時10分東峰の東尾根上にHC(5805m)を設営した。この日、午後から風速が強まり天候が悪化。午後2時半ころから3時40分頃にかけて雷雲が頭上を通過、同時に霰が強烈な勢いでテントに吹き付け、生きた心地がしなかった。夜間には雪が降り積もり翌朝は辺り一面銀世界になっていた。

7月9日 明け方まで雪が降り続いていた。天候の回復を1時間ほど



Dzo Jongo(6211m)東峰に登頂

待ってHCを7時05分に出発し、6211mの東峰に9時25分に登頂し、10時40分まで山頂に滞在した。黒雲の接近が確認でき、天候悪化を予想して下山、11時40分にHCに帰りテント撤収、HCを12時40分に出発、14時10分に無事BCに帰着した。

7月10日 BCで休養 7月11日 BCを撤収、8時

10分出発。来る時と同じキャラバンコースで16時40分に車の終点(Shang



コンマル峠にて(カン・ユーセイ山群全景)

Smudo)に到着。迎いの車でレーに向い19時にラリモーホテルに到着した。

インド・ヒマラヤ ラダック便り・沖

完